

次頁源は永遠にあるものではなく、限りがあるものだし、今の私たちは未来に必要な資源も今の生活につかてしまっている。その中で食品ロスも大きな問題には、ている。そろそろ食べ物も永遠にあるものではない。未来に必要な資源をなくさないために、私たちができることはなにか。

日本の食品ロスは年間約60万t、これは日本の国民全員が毎日茶碗約1杯分の食べ物捨てている計算だそう。世界の食料支援量と日本の食品廃棄量という回を見ればこれは既に苦しむ国や地域に援助している食べ物1.5倍だということがわかる。世界には何も食べず、苦しんでいる人がたくさんいる。私たちが食べ残さず、余りな食べ物を捨てるのをやめて、しっかりと食料を確保し、自分たちがたくさんの食べ物をしてしまっている。だから自分たちがたくさんの食べ物と食べ物を食べられているということにも、とありがたおそむて、食べ物もなくさないためにどうしたらよいかを考えることが大切なのではないかと思う。主な食品ロスの原因は、買ひすぎや保存方法が悪く、直接捨てる。残り、野苺の皮を厚くむきすぎたり、根の苺、皮をむけるほど、食べ残される。ところまで捨てる。こういうこともある。このような理由で、限りのあるものをムカにしてしまっている。このままでは食べ物などの資源が減っていく。こまやかかもしれない。その対策として物を必要以上買ひすぎたりせず、使えるところは、しっかり使う。その工夫が、できるのは、いかと私は思う。

世界の食料支援と日本の食品廃棄



*「国際食料政策報告書2017」より引用
 *「食品廃棄物の削減状況（平成28年度調査）」環境省より引用

確かに、食べ物のごちそうで気がつかないけれども、
なにのほいさだと思ふ人もいふかもしれない。しかし、
食べ物などの資源はこれから先の未来にも必要は
ものだ。私たちの生活のために大切な資源を守る
ために、私たちにできることをつづけていきたいと思います。

〈出典〉Eda Tower S.O.G.s 世界の国々地

域で協力して持続可能な開発を目指す

S.O.G.s 東京書籍